

集団的自衛権行使容認に断固反対!!

7月1日に安倍政権が集団的自衛権の行使容認を閣議決定したことに対して、栃木県連は同日、緊急幹事会を開催し「憲法解釈変更による集団的自衛権行使容認を断固許さない決議」を採択した。また、翌2日早朝にJR宇都宮駅西口において閣議決定に抗議する街頭演説を行った。



閣議決定に抗議する街頭演説

同日午後、福田昭夫県連代表、田城郁副代表は民主党本部において海江田万里代表および大島章宏幹事長(当時)へ、栃木県連で採択した「憲法解釈変更による集団的自衛権行使容認を断固許さない決議」を提出。



栃木県連、海江田代表へ申し入れ

今回の閣議決定には多くの国民から反対の声が上がっており、そうした国民の声に真摯に応え、党綱領に示す専守防衛を踏まえた挙党一致の行動を提起するよう要請した。

今後反対集会を開催し、栃木県連は引き続き**集団的自衛権行使容認に断固反対**する。

「集団的自衛権行使容認に断固反対する県民集会」

日時 11月1日(土) 15:00~

場所 とちぎ健康の森・講堂
宇都宮市駒生町3337-1
TEL.028-623-5858

基調講演

「日本発・戦場内の安倍暴走列車を止めるべし! 集団的自衛権行使が導く危険な行く末」

【講師】孫崎 享さん
(東アジア共同体研究所所長
元防衛大学校教授
元外務省情報局長)

入場無料、奮ってご参加下さい。

※この集会是、「民主党とちぎ政策研究会・第6回講義」とセットで開催します。

自然災害による現地調査および緊急要望提出

栃木県内各地において2月から8月にかけて大雪、豪雨、突風、台風等の自然災害が発生し、県民生活に多大な被害を及ぼした。栃木県連は、各被害地において現地調査を行い、県民、生産者から深刻な被害状況の報告を受け、早急な復旧および被災者への補償、防災・減災体制強化について緊急要望を行った。

● 2月14日から15日にかけて降り続いた記録的な大雪により、県内の広範囲にわたり、いちご、トマトなどの農作物や農業用施設に甚大な被害が発生した。被害総額は70億円を超える。

- 現地調査▶ ○2月19日 佐野市小中地区内のいちご農家3軒と栃木市内のトマト農家1軒
○2月25日 鹿沼市内のいちご・トマト農家、鹿沼土の生産業者
緊急要望▶ ○2月17日 県へ「大雪による農作物等被害への早期対応に関する緊急要望書」提出

● 6月5日から続いた降雨により、県内各地において二条大麦等の穂発芽被害が発生。23億円余の甚大な被害となった。

- 現地調査▶ ○6月16日 栃木県河内農業振興事務所にて、県内の被害状況のヒアリング。宇都宮市内の二条大麦圃場
緊急要望▶ ○6月16日 県へ「大雨による二条大麦等の穂発芽被害に関する緊急要望書」提出

● 6月16日から17日にかけて1時間あたり最大雨量74mm、2日間の総雨量179mmを記録する豪雨となり、宇都宮市各地で浸水被害や土砂災害が発生。一部地域では避難勧告が発令された。

- 現地調査▶ ○6月20日 宇都宮市八幡山公園散策路および八幡山公園東側斜面土砂崩れ
緊急要望▶ ○6月20日 県および宇都宮市へ「豪雨による被害への対応に関する緊急要望書」提出

● 8月10日、台風11号の影響により大気の状態が不安定となり、栃木、鹿沼、壬生の3市町の一部で突風が発生し住宅等への建物被害や農業施設・農作物などの農業被害が発生した。

- 現地調査▶ ○8月11日 鹿沼市北赤塚、壬生町園芸農家施設
緊急要望▶ ○8月12日 県へ「竜巻被害に関する緊急要望書」提出



2.19 雪害被害調査 (佐野市)

2.19 雪害被害調査 (鹿沼市)

6.16 二条大麦の穂発芽被害調査 (宇都宮市)

6.20 土砂災害調査 (宇都宮市)

8.11 突風被害調査 (壬生町)

2014年 党員・サポーター登録

ご協力有難うございました

2014年党員・サポーター登録にご協力いただき誠に有難うございました。また、日頃より民主党にご支援いただき重ねて御礼申し上げます。
本年6月末日に登録されました栃木県連党員・サポーターは3,191名でした。
未だ、民主党への情勢は大変厳しい中ではありますが、私たちは、全ての人が居場所と出番のある経済社会を目指し、民主党の基本理念に基づく経済政策を実現するために邁進していきます。今後ともご支援ご支持賜りますようお願い申し上げます。

facebook いいね!をお願いします <http://www.17.ocn.ne.jp/~minsyu/> 民主党栃木 検索



民主党プレス民主編集部
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
民主党栃木県総支部連合会(広報委員会)
〒320-0043 宇都宮市桜2-1-30
電話 028-627-1700
Eメール minsyu@ace.ocn.ne.jp
ホームページ http://www.17.ocn.ne.jp/~minsyu/

号外とちぎ
2014.10.10
(No.7)

『民主党とちぎ政策研究会』

当会は政策について学ぶ場、さらには県民と対話しながらも政策的課題について研鑽を積むことを主目的とし、全8回で企画された研究会。

全8回講演開催中!

皆さまのご参加をお待ちしております。



講演に聞き入る参加者

第1回 日時 9月13日(土) 15時~17時
会場 コンセーレ

地域活性化なくして日本活性化なし 地域のパワーは中小企業から!

講師 山口義行さん(立教大学経済学部教授)

山口教授は、経済危機やバブル問題に関するスペシャリストであり、テレビ等でのコメンテーター等も多務める。また、中小企業の連携活動支援にも精力的に関わり、現在は、「スモールサン(中小企業サポートネットワーク)」主宰者として活動を全国展開している。山口教授は、アベノミクスが進むにつれて中小企業の経営はますます厳しくなると指摘。この厳しい時代を生き抜くためには「読む力」「問う力」「つなぐ力」の3つが必要であると説いた。また、「この3つの力の中でも「読む力」が最も大事」とする。山口教授は、「テレビ等から出される情報は、言論統制された内容であることを認識しなければならない」とし、自身の体験談をもとに「現在の日本は自由にもがける社会から遠ざかっている」と警鐘を鳴らした。



▲講演する山口義行教授

長妻議員は、先進国で生活保護を受ける人はほとんどいないことを紹介したうえで、「日本の年金制度は脆弱である」とした。その原因の一つに、グローバル企業のみを優遇する安倍政権が推し進める「成長戦略」により格差が広がりがり続け、結果として年金を納められない事業者、国民が増えていることを挙げた。

また、年金積立金130兆円が「成長戦略」の名のもとに株価維持に利用される恐れがある」とし、目的に反する邪道なやり方を選択する現政権を批判した。

長妻議員は、年金制度の抜本改革の必要性を説くと同時に根底には、「非正規雇用」が増え続ける等、格差拡大が原因にあると指摘。

「格差是正」がカギとなる日本の社会保障について「今は巨大与党に対抗する小さい野党だが論を張って与党をチェックしていく」と訴えた。更に安倍内閣の二極化、右傾化を問題視したうえで、「多様な価値を認め合い、皆に機会がある社会の実現こそ結果として国が強くなる。民主党にしかこれらの実現はできない」と改めて改革へ取り組む決意を述べるとともに、引き続きの支援を求めた。

第3回 日時 9月27日(土) 13時~15時
会場 ホテルニューイタヤ

もう当たり前じゃなくなる 食糧・エネルギーの安定供給?! 危機的状況に突入した日本の対策

講師 柴田明夫さん(橋資源・食糧問題研究所代表)

柴田代表は、丸紅(株)、丸紅経済研究所を経て現在に至る。農林水産省の政策審議会や研究会の委員も務める食糧・エネルギー問題について研究する第一人者である。

柴田代表は、2011年以降、日本の貿易赤字が続いていることについてふれた。理由として資源の高騰を挙げ、これらは一過性の上昇ではなく、大國・中国の需要拡大や後進国の台頭、さらには中東・北アフリカの地政学的リスク・急激な人口増が要因していることを紹介。

食糧の輸入にあたっては、今後、トウモロコシや小麦、大豆の主要品目について日本と競合する恐れもあると指摘した。

これらの事態は結果として、日本がこれまで追求してきた「3つの安定(価格)(品質)(供給)」が

脅かされることになると懸念。柴田代表は、「日本は(食糧の)不足と過剰が併存していることが問題だ」とし、今後の国内の資源・エネルギー戦略を考えるうえで「国内資源のフル活用」を提案した。

農業であれば、単に農地をフル活用するというだけでなく、水資源や人材の確保を行うことで地域コミュニティの活性化に繋がるというもの。また、本県についても話が及び、「大市場に隣接し、水資源にも恵まれているが有効に使われていない。もう一度地域を見直していく時が来ている」と提言した。

資源価格を大きく引き下げることは難しい現状を踏まえ、省エネや代替エネルギーへの対応が必要であるとともに、柴田代表は「成長戦略」よりもまずは「安定」を求めるべき。1次産業とくに農業・農村地帯の安定が重要」と説き、このことは結果的に包容力が大きくなるとした。

「第4回」は10月4日、神野直彦東京大学名誉教授を講師に「地方のことは地方で決める! 県民市民の幸せの近道は「地域主権」と題して開催しました。紙面の校正・印刷の都合により掲載できませんでした。詳しくはホームページをご覧ください。

今後の講演日程

日時: 10月18日(土) 10時~12時
会場: コンセーレ
講師: 原中勝征さん(医師・前日本医師会会長)
演題: 日本の医療制度が崩壊する... 守るためにはどうすべきか

日時: 11月1日(土) 15時~17時
会場: とちぎ健康の森
講師: 孫崎 享さん(東アジア共同体研究所所長、元防衛大学校教授、元外務省情報局長)
演題: 日本発・戦場内の安倍暴走列車を止めるべし! 集団的自衛権行使が導く危険な行く末
※当日は「集団的自衛権行使容認に断固反対する県民集会」とセットで開催します。

日時: 11月8日(土) 13時~15時
会場: コンセーレ
講師: 三橋貴明さん(総経世論研究所所長)
演題: 日本の国家財政破綻の可能性は... アベノミクスの幻想から脱却する日本経済の再生

日時: 11月22日(土) 13時~15時
会場: ホテルニューイタヤ
講師: 篠原 孝さん(衆議院議員・元農林水産副大臣)
演題: これまで報道されなかったTPPの真実だから日本はこう歩むべき